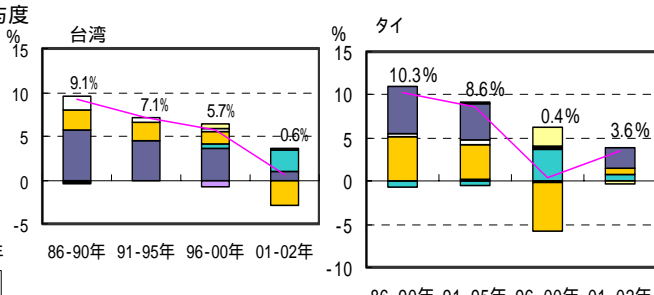
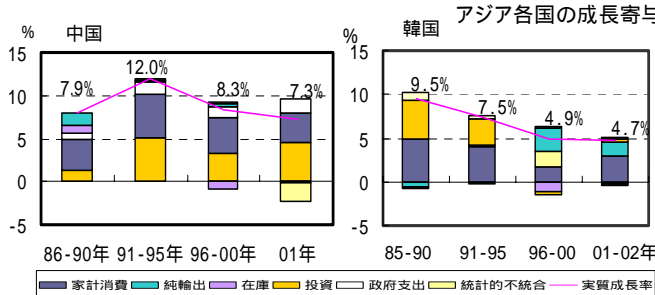
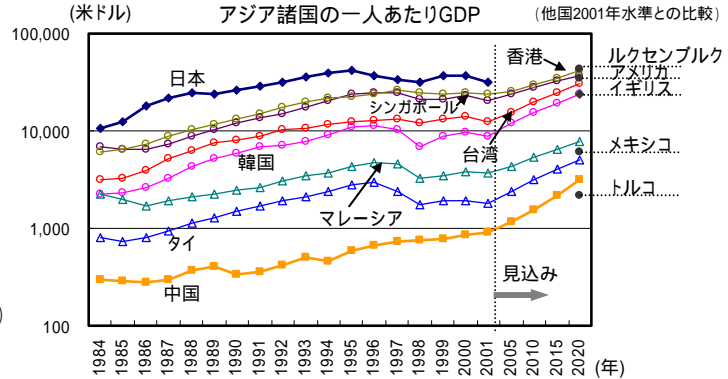
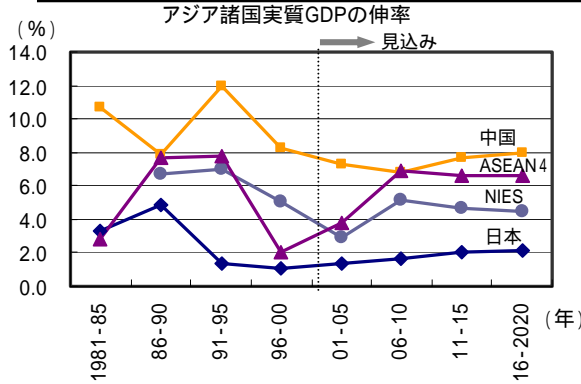


### 指標：アジア諸国の成長率

アジア諸国は97年の経済危機を乗り越え、中国は投資主導、韓国・台湾は消費主導、タイは輸出主導で成長している。2020年まで比較的高い成長を続ける予想。特に中国は7～8%の成長を続け、一人あたりGDPも2020年には現在のトルコの水準を上回る等、消費市場としての魅力も増していく。



(注) 1.NIES,ASEAN 4の実質GDP伸率は構成国(NIES:韓国、香港、台湾、シンガポール、ASEAN4:インドネシア、マレーシア、フィリピン、タイ)の実質値2000年平均米ドル為替レート換算値の和より算出。見込みは日本経済センターの予測によるが、2001～2004年についてはアジア開発銀行「アジア開発見通し2003」の数字で算出した。  
 2.一人あたりGDPの見込み値は伸び率で算出したGDP(米ドルベース)と国連人口推計による人口により算出した。  
 (出典)(社)日本経済研究センター「2020年のアジアの産業競争力」、内閣府：「アジア経済2000」、アジア開発銀行データ、台湾行政院主計処資料、タイNESDB資料、韓国統計庁資料、中国統計年鑑、中国統計概要より国土交通省国土計画局作成。